



有限責任中間法人 日本エレクトロヒートセンター の発足にあたって

片倉 百樹 有限責任中間法人
日本エレクトロヒートセンター 会長

本年4月3日に有限責任中間法人の設立手続きを終え、5月31日には設立総会及び設立記念式典を挙行し、「日本エレクトロヒートセンター」は新たなスタートを切ることとなりました。これもひとえに、ご支援くださいました会員の皆様をはじめ関係者のご協力の賜物と厚く御礼申し上げます。

当センターの前身である日本電熱協会は、昭和58年の設立以来、20数年間の永きにわたり、メーカー・研究機関・電力会社が協力して、電気加熱およびヒートポンプに関する技術・ノウハウの蓄積やその普及拡大に取り組み、大きな成果をあげてまいりました。一方、協会を取り巻く環境については、経済面で、企業活動のグローバル化が進展し、また、地球環境面で、京都議定書が発効され、地球温暖化対策推進法や省エネルギー法が改正されるなど、大きな変化がありました。こうした中で、電気加熱・ヒートポンプは、CO₂削減やコストダウンなどといった社会のニーズに対し、ますます重要な役割を担っていくものと確信しております。

さて、新生「日本エレクトロヒートセンター」は、日本電熱協会の技術蓄積等をベースに、中間法人として社会や会員の皆様方に一層お役に立つことを目指し、次のような考え方で、活動を進めていきたいと考えております。

まず、産業ならびに業務用分野におけるさまざまなニーズを的確に把握するとともに、これにお応えして、当センターが保有し、1万度超の高温域からマイナスの低温域まで、幅広い温度域に対応できる電気加熱・ヒートポンプについての、情報発信ならびに、その普及促進を積極的に展開して参ります。

特に、電気加熱・ヒートポンプのもつ優れた特長、すなわち、環境改善性、省エネルギー性、経済性等については、広く社会に認知されるよう、行政および関係機関との連携強化を図りながら、普及促進策等を検討・推進して参りたいと思います。

また、会員の皆様のビジネスチャンス拡大につながるように、新たな事業領域に対する電気加熱・ヒートポンプの適用を目指し、新規市場の調査や技術開発等に対しても取り組んで参りたいと考えております。

こうした活動により、「日本エレクトロヒートセンター」が電気加熱・ヒートポンプのナショナルセンターとして社会に貢献できるよう、努力する所存でございます。

これまでの日本電熱協会に対する皆様のご愛顧に深く感謝申し上げますとともに、「日本エレクトロヒートセンター」に対しましても、一層のご支援、ご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

(かたくら ももき) 東京電力(株) 執行役員 販売営業本部副本部長